

[生涯学習]課 経営計画書（総括表）

■事務事業の総括

No.	事務事業名	様式 区分	R3 年度計画額（単位：千円）		R3 年度必要人工	
			計画額	内特定財源	職員	会計年度 任用職員
1	家庭教育推進事業	A	882	290	0.3	0.2
2	生涯学習活動推進事業	A	17,817	308	0.3	0.1
3	生涯学習講座事業	A	1,305	130	0.5	0.2
4	中央公民館管理事業	B	50,979	3,975	0.6	0.1
5	町民会館管理事業	B	19,048	2,613	0.6	0.1
6	社会体育振興事業	A	10,102	360	0.6	0.1
7	温水プール管理事業	A	51,917	392	0.4	0.1
8	グラウンド等管理事業	A	47,006	1,956	0.5	0.1
9	野外活動施設管理事業	A	4,817	15	0.2	0
10	文化財保護事業	A	3,308	30	0.5	0.5
11	歴史民俗資料館運営事業	A	11,823	40	0.5	1
12	歴史文化教育事業	A	0	0	1	0.5
合 計			219,004	10,109	6.0	3.0

■特記事項

--

令和3年度 事業別行政経営計画書【A】

所属名	生涯学習課	No.	1
事業名	家庭教育推進事業		

■基礎情報

目的	<p>将来を担う子どもたちの健全育成は、学校・家庭・地域及び子どもに関する関係機関が連携し、すべての教育の基である家庭教育の充実を図り発展させること。</p>	
事務内容	<p>・家庭教育講座 ※小学生以上を対象にした講座や親子を対象にした自然体験教室等を開催する。</p>	<p>・親子ふれあいファミリーフェスタ ※ふれあいまつりで小、中学校PTAと協働契約により開催する。</p>
現在における経過又は課題	<p>昨今の社会構造の変化に伴う子育て家庭の孤立等の要因により、家庭内での問題が取り上げられている。その為、学校、家庭、地域が連携して、自然体験や親子ふれあいの場づくりに務め、家庭や地域が共に子育てに参加し、その教育力を高めることが必要である。</p> <p>今後の課題点として、きっかけづくりとして新たな事業、特に父子で参加できる事業の検討が必要と考えている。</p> <p>また、青少年を取り巻く状況については、青少年問題協議会を年1回開催し、町内ショッピングセンター店舗にて啓発活動を実施している。</p>	
令和3年度の目標又は改善策	<p>親子講座や親子（父子）がふれあい、ともに学習できる機会の提供など、より一層の充実を図る。</p> <p>新たな参加者の獲得のためアンケート調査等を実施しながら、更なるニーズの発掘や新規親子講座の検討を行う。</p> <p>事業や開催時期などが重複しないよう、他の部局と情報を共有しながら連携を密にするようにする。</p> <p>いずれにしても、新型コロナ感染拡大防止に努めながら、状況に応じて事業の可否や内容の変更などを判断していく必要がある。</p>	

■ 第7次大口町総合計画に定める事項

総合計画の 体系	基本目標	第1章	次代を担う子ども・若者の育成				
	基本政策	第3節	青少年の育成				
成果 指標	家庭教育指導など青少年の健全育成への満足度						
H26 実績値	R1 実績値	R2 計画値	R3 目標値	R4 目標値	R5 目標値	R6 目標値	R7 目標値
63.6%	65.1%	66.0%	-	-	-	-	70.0%

成果 指標	学校と地域や家庭との連携の満足度						
H26 実績値	R1 実績値	R2 計画値	R3 目標値	R4 目標値	R5 目標値	R6 目標値	R7 目標値
62.4%	65.6%	65.0%	-	-	-	-	68.0%

■ 3年間の目標

目標	(この表は斜線で消されています)					
	項 目 (単位)	R1 実績	R2 計画	R3 目標	R4 目標	R5 目標

■ 2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
R4 年度	中高生等の居場所づくりの推進・啓発を行う
R5 年度	青少年の社会活動への参加機会の創出を行う

■作業工程（当該年度）

月	作業内容
4	前期家庭教育講座の受付及び事業展開、アンケート調査（5月～8月）
7	日間賀島親子自然体験教室開催及びアンケート調査 青少年問題協議会の開催
10	後期家庭教育講座の受付及び事業展開、アンケート調査（10月～2月）

■事業コスト

		単位	R1 年度決算額	R2 年度当初予算額	R3 年度計画額
事業費		千円	869	774	882
（内特定財源）		千円	293	290	290
人工	職員	人工	0.6	0.6	0.3
	会計年度 任用職員	人工	0	0	0.2
	計	人工	0.6	0.6	0.5

■令和3年度計画特定財源内訳

（単位：千円）

特定財源名称	金額	備考（充当先等）
【雑入】家庭教育講座受講料	20	10-5-1 3 家庭教育推進事業
【雑入】家庭教育活動参加者負担金	270	10-5-1 3 家庭教育推進事業
合計	290	

■令和3年度計画額の主な増減

（新たな取組、臨時経費、廃止項目等）

（単位：千円）

項目（科目等）	計画額	増減額	内容

■目標又は改善策に対する取組内容

●家庭教育講座の受付及び事業展開

親子自然体験教室（計画段階で中止）

親子で竹パン教室（6月26日開催予定→10月30日に延期したが中止）

阿智・昼神星空観賞会（10月16日開催予定が中止）

フラワーアレンジメント教室（2月26日・27日開催予定が中止）

理科おもしろ実験講座（2月12日開催予定→3月12日に延期したが中止）

→上記講座は新型コロナウイルス感染拡大防止のためすべて中止とした。

●ふれあいまつり2021

→毎年、小学校PTAと協働委託契約し参加していたが、新型コロナウイルス感染防止のため、ふれあいまつり自体が中止となった。

●青少年問題協議会

→書面会議にて開催。例年行っている町内商業施設での巡回パトロールは新型コロナウイルス感染予防のため中止した。

■評価

講座は少人数制とし、「フラワーアレンジメント教室」は同一内容を複数日開催する1日講座としたり、「親子自然体験教室」や「阿智・昼神星空観賞会」は参加者を現地集合・現地解散としたりと、コロナ禍でも実施できる方法や実施可能な事業を検討しながらすすめたが、昨年度に引き続き、事業が新型コロナウイルス感染防止のため中止した。

親子ふれあい事業や父子料理教室などは、町NPO登録団体との連携を図り、変化していく状況の中で実施可能な事業を模索し、実施していくことが必要である。

■特記事項

令和3年度 事業別行政経営計画書【A】

所属名	生涯学習課	No.	2
事業名	生涯学習活動推進事業		

■基礎情報

目的	人々が自らの意思で、生涯学習活動を進めることにより、大口町生涯学習基本構想に基づく「生涯学習のまちづくり」を目指すこと。	
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・文化振興（芸能文化事業） ・学校支援地域本部事業 ・文化協会支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・成人の集い実行委員会支援 ・リフレッシュリゾート施設利用助成 ・少年少女発明クラブ
現在における経過又は課題	<p>生涯学習活動については、大口町生涯学習基本構想に基づき、住民一人ひとりが生涯学習に取り組む機会が得られるよう、様々な事業を展開している。</p> <p>文化協会については、それぞれのクラブにおいて積極的に活動されており、今後も自主的な活動を支援していく。</p> <p>学校支援地域本部事業については、安定した運営を引き続き継続していけるよう、体制を維持していくことが必要である。</p>	
令和3年度の目標又は改善策	<p>開かれた学校づくりの一環として、地域住民が学校における行事や事業への参加・協力ができるよう、学校地域支援本部の継続と情報発信、学校支援ボランティアの在り方を検証しながら体制の強化を図っていく。</p> <p>文化協会の運営については、引き続き文化協会の事務運営全般をまちネットへ委託していく中で、その内容を検証しながら今後の文化協会の自主運営の体制を整えていく。</p> <p>少年少女発明クラブについては、引き続き体制の支援を図っていく。</p> <p>いずれにしても、新型コロナウイルス感染拡大防止に努めながら、状況に応じて事業の可否や内容の変更などを判断していく必要がある。</p>	

■第7次大口町総合計画に定める事項

総合計画の 体系	基本目標	第4章	人の知恵・技・情報が生きる元気コミュニティを創造する				
	基本政策	第1節	生涯学習の推進				
成果 指標	学校支援地域本部事業ボランティア登録数						
H26 実績値	R1 実績値	R2 計画値	R3 目標値	R4 目標値	R5 目標値	R6 目標値	R7 目標値
97人	79人	100人	100人	100人	100人	100人	100人

■3年間の目標

目標	(この表は斜線で塗りつぶされています)					
	項目(単位)	R1 実績	R2 計画	R3 目標	R4 目標	R5 目標

■2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
R4年度	生涯学習を通じた生きがいつくりの創出及び啓発を行う
R5年度	生涯学習の拠点としての学校支援本部体制の整備を行う

■作業工程 (当該年度)

月	作業内容
4	大口町文化協会補助金交付決定 事業の展開支援(4月~3月) 生涯学習のまちづくり事業委託契約
6	町NPO団体と協働委託契約を締結 芸能文化事業の展開(6月~2月) ・ほほえみコンサート、なんでもマラソンコンサート、おおぐち合唱祭、ダンス&ミュージック
7	成人の集い実行委員会立ち上げ 事業の展開(8月~1月)
1	成人の集い開催
随	リフレッシュリゾート施設利用申請受付、利用券交付(4月~3月)

■事業コスト

		単位	R1 年度決算額	R2 年度当初予算額	R3 年度計画額
事業費		千円	16,543	17,862	17,817
(内特定財源)		千円		308	308
人工	職員	人工	0.5	0.5	0.3
	会計年度 任用職員	人工	0	0	0.1
	計	人工	0.5	0.5	0.4

■令和3年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
特別教室開放施設使用料	108	10-5-1 4 生涯学習活動推進事業
ふるさとづくり基金繰入金	200	10-5-1 4 生涯学習活動推進事業
合計	308	

■令和3年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

項目(科目等)	計画額	増減額	内容

■目標又は改善策に対する取組内容

中央公民館廊下やロビーなどを有効活用し、文化協会や学校支援地域本部事業、地域自治組織などのPRができるようパネルの展示や事業報告などを掲載し、各種団体へ加入へのアピールを行った。

●芸能文化事業

大口なんでもマラソンコンサート

ダンス&ミュージックフェスティバル

ほほえみコンサート(1月30日開催予定が中止)

→新型コロナ感染拡大防止のため中止とした。

●成人の集い実行委員会支援

成人の集い参加者 199人(町内在住者176人、町外者23人)(1月9日)

中央公民会集会室にて開催

●文化協会支援

文化部、芸能部合わせて20団体、207人

事業実績(作品展・教室・発表会・慰問) 37事業

●リフレッシュリゾート施設利用助成

助成額 997,000円

(日間賀島108件 屋神温泉168件 共済7件 松江31件 FDA利用22件)

●学校支援地域本部 地域・学校連携事業

ボランティア登録人数 80人

大口中学校学校支援

- ・大口中学校(抜粋)

「ふれあい清掃」: 学校の要望により生徒と一緒にを行う清掃は中止し、プランターの植替えや草取りなど環境整備活動を実施(延べ37日 190人)

「図書館サポート」: 管内掲示物の作成や本のカバー貼りなどの作業を実施(延べ14日 93人)

「特別支援学級授業サポート」: ボランティアと学校との打合せ会により授業分担を決め実施(延べ130日 143人)

小学校支援

- ・大口南小学校 トイレ・昇降口の清掃指導(令和3年度は除草作業に変更)、図書館サポートを実施(延べ31日 236人)
- ・大口北小学校 トイレ清掃指導サポート、図書館サポート、環境サポートを実施(延べ99日 126人)
- ・大口西小学校 環境サポート、図書館サポートを実施(延べ39日 172人)

■評価

芸能文化事業は、新型コロナウイルス感染防止のため、全ての事業を中止した。

文化協会においても、施設の利用制限などにより活動が限定された。

学校支援地域本部事業は、新型コロナウイルス感染防止のため活動時期が限定される中、感染予防対策を徹底しながら事業を実施した。9月からは中学校の学校施設開放の受付業務を請負い、利用者の申請受付窓口を一元化した。今後も学校支援活動が地域における役割を担っていけるよう支援を継続していく。

成人の集いは、新型コロナウイルス感染防止対策として、施設の換気面を考慮し、昨年同様中央公民館集会室で実施した。対象者以外の入場制限、入館前の検温、換気のため窓や扉を開放、密にならないよう席の間隔をとり、マスク着用を徹底するなど、感染防止対策を徹底して行った。

リフレッシュリゾート事業は、新型コロナウイルス感染症のため利用者が減少した。制度改正後の検証のため、事業についてのアンケートを検討し、新型コロナウイルス感染状況をみながら実施のタイミングを計っていたが、実施には至らなかった。

■特記事項

令和3年度 事業別行政経営計画書【A】

所属名	生涯教育部 生涯学習課	No.	3
事業名	生涯学習講座事業		

■基礎情報

目的	町民一人ひとりが、変化の多い社会の中で「明るく、楽しく、豊かに」生きることを願い、様々な分野の各種講座を開設し、個々の教養や技術を習得すること。	
事務内容	・ 定期講座 ※前期、後期に分け、主に教養を深めることや趣味の拡大を目的に1講座6回程度開催する。	・ 旬の講座 ※その季節にあわせて1講座1回から3回程度開催する。
現在における経過又は課題	前期・後期に分けて様々な講座を企画している中で、講座による参加者の数にばらつきが発生している点は否めない。しかしながら、行政における講座開催の役割としてはきっかけづくりが主なものであるため、参加者数にとられない様々な講座の紹介としての役割を担えればと考えている。	
令和3年度の目標又は改善策	講座開催時のアンケート調査で得た情報を基に、住民ニーズを把握し、新たな講座等を企画していく。講座を企画するうえでは、参加人数の多寡にとられず、様々な方面から情報を模索し、きっかけづくりとしての役割を担えるような考え方でこなう。 いずれにしても、新型コロナウイルス感染拡大防止に努めながら、状況に応じて事業の可否や内容の変更などを判断していく必要がある。	

■ 第7次大口町総合計画に定める事項

総合計画の 体系	基本目標	第4章	人の知恵・技・情報が活きる元気コミュニティを創造する				
	基本政策	第1節	生涯学習の推進				
成果 指標	生涯学習講座のメニューの数の満足度						
H26 実績値	R1 実績値	R2 計画値	R3 目標値	R4 目標値	R5 目標値	R6 目標値	R7 目標値
59.5%	63.3%	63.0%	-	-	-	-	65.0%

■ 3年間の目標

目標	/					
	項目(単位)	R1 実績	R2 計画	R3 目標	R4 目標	R5 目標

■ 2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
R4 年度	住民ニーズに応じた生涯学習講座を開催する
R5 年度	講座から派生した地域活動などの支援を行う

■ 作業工程 (当該年度)

月	作業内容
4	前期生涯学習講座の受付及び事業展開(5月～8月)
9	後期生涯学習講座の受付及び事業展開(10月～2月)
	* 事業の展開と共に、新たな講座等を企画していく。

■事業コスト

		単位	R1 年度決算額	R2 年度当初予算額	R3 年度計画額
事業費		千円	913	1,323	1,305
(内特定財源)		千円		130	130
人工	職員	人工	0.9	0.9	0.5
	会計年度 任用職員	人工	0	0	0.2
	計	人工	0.9	0.9	0.7

■令和3年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
【雑入】社会教育講座受講料	130	10-5-1 5 生涯学習講座事業
合計	130	

■令和3年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

項目(科目等)	計画額	増減額	内容

■目標又は改善策に対する取組内容

●前期講座

絵手紙教室(7月14日、8月4日、11月17日)

参加者 5人(延べ15人)

→全3回の講座で、まん延防止等重点措置の発出に伴い、開催日の延期対応により開催

気象学入門(7月17日、7月24日、11月20日)

参加者 第1回：14人、第2回：16人、第3回：22人

→各回テーマが異なる全3回の講座で、各回別々に受講申込みを受付した。まん延防止等重点措置の発出に伴い、開催日の延期対応により開催

●姉妹都市提携講座

来待石彫刻体験 11月28日(日)白山ふれあいの森2階会議室にて実施

参加者：大人7名 子供5名

●後期講座

姿勢調整師が教えるウォーキング教室(2月3日、3月3日開催予定が両日とも中止)

塗り絵体験教室(2月1日、2月15日開催予定が両日とも中止)

→同一内容を複数日開催する講座であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

●高齢者教室～さくら大学～

→新型コロナウイルス感染状況を鑑み、9月からの開講を計画したが、緊急事態宣言などの発出に伴

い感染拡大防止対策として全て中止とした。

■評価

生涯学習講座事業について、前期講座は、「密」を避けるため受講人数の制限を設け、開催時は感染防止対策を徹底した。このうち「絵手紙教室」は、対面制と通信制の2種類を設けた。通信制は、申込み時に渡した画材で、作品を完成させて持ってきてもらい、講師に見せて講評してもらおうというものだったが、受講申込みはなかった。まん延防止等重点措置の発出により、当初の予定日では開催が困難となったため、開催日を延期することで計画通り3回の講座を実施できた。後期講座は、感染防止対策として、同一内容を複数日開催する少人数制の1日講座とし、ホームページやメール配信にて開催周知したが、受講申込みのない講座やまん延防止等重点措置の発出に伴う感染拡大防止のため、全てを中止した。

感染状況の影響もあるが、申込者なしの講座があったことは、講座の内容や周知方法について再考を要し、その中で感染対策を講じながら実施できる講座を模索していく必要がある。

さくら大学は、高齢者が対象で、感染状況から開催するか判断がより慎重となり、結果として全講座を中止した。外部からの講師は、早期の開催決定判断が特に必要となるが、開催決定時期を含め、内容や開講方法を検討する必要がある。

■特記事項

令和3年度 事業別行政経営計画書【B】

所属名	生涯教育部 生涯学習課	No.	4
事業名	中央公民館管理事業		

■基礎情報

目的	町民が安全で快適に学習できるよう、施設を整備し、町民が気楽に集まり教養や技術を習得することができると共に「明るく、楽しく、豊かに」生きることの一助とする。	
事務内容	<ul style="list-style-type: none">・ 施設の利用者対応・ 設備の維持管理 ※外注分は協議・契約・履行確認	<ul style="list-style-type: none">・ 支払処理・ 消耗品等の補充・ 除草等清掃作業
現在における経過又は課題	施設内の老朽箇所が散見されるため、随時対応していく。特に配管設備や電気設備について、急な不具合が発生する事案が度々あり、その都度修繕対応が必要である。また、周辺の樹木の剪定・伐採など、外観美化に努めていく。	
令和3年度の目標又は改善策	随時発生する不具合において、その都度迅速に対応していく。また、光熱水費について、経済的な面、環境的な面から節制を心掛けていく。 施設の利用については、新型コロナウイルス感染拡大予防に努めながら、利用の仕方を考えていく必要がある。	

■ 第7次大口町総合計画に定める事項

総合計画の 体系	基本目標	第4章	人の知恵・技・情報が活きる元気コミュニティを創造する				
	基本政策	第1節	生涯学習の推進				
成果指標	/						
H26 実績値	R1 実績値	R2 計画書	R3 目標値	R4 目標値	R5 目標値	R6 目標値	R7 目標値

■ 3年間の目標

目標	施設の突発的な不具合に際し、優先度を考慮しながら迅速に対応する。					
項目（単位）	R1 実績	R2 計画	R3 目標	R4 目標	R5 目標	

■ 2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
R4 年度	光熱水費の節減を図る
R5 年度	施設の効率的な運用の検証を行う

■ 作業工程（当該年度）

月	作業内容
4	<p>年間を通して行う保守点検等の契約締結 随時、履行確認をしていく。</p> <p>* 突発的な施設の不具合等への対応に努めながら、健全な施設運営を図っていく。</p>

■事業コスト

		単位	R1 年度決算額	R2 年度当初予算額	R3 年度計画額
事業費		千円	54,342	51,594	50,979
(内特定財源)		千円		3,961	3,975
人工	職員	人工	0.8	0.8	0.6
	会計年度 任用職員	人工	0	0	0.1
	計	人工	0.8	0.8	0.7

■令和3年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
行政財産目的外使用料	110	10-5-2 3 中央公民館管理事業
中央公民館使用料	3,500	10-5-2 3 中央公民館管理事業
【雑入】施設利用負担金	365	10-5-2 3 中央公民館管理事業
合計	3,975	

■令和3年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

項目(科目等)	計画額	増減額	内容
10-5-2 (03) 14-1-4 自動水栓取替等工事費	641	641	トイレ手洗い場を自動水栓化する

■目標又は改善策に対する取組内容

修繕(主なもの)		
5月	2階C教室カーペット張替修繕	213,400円
8月	玄関スロープ修繕 (スロープのすみ切り及び手すりの設置)	616,000円
工事		
11月	自動水栓取替等工事費 (1階娯楽室前トイレとさくら屋内手洗い場、3階小体育室前及び図書館トイレの手洗い場の自動水栓化の工事)	634,200円
3月	2階ホールLAN工事 (2階学習スペースのフリーWi-Fi環境整備工事)	251,900円

その他

緊急事態宣言期間中の施設閉鎖、まん延防止等重点措置期間の人数や町外在住者の利用制限を実施した。

■ 評価

新型コロナウイルス感染防止対策として、トイレ等の手洗い場の自動水栓化工事を実施した。

2階学習スペース（C会議室を含む）のフリーWi-Fiが利用できる環境を整備した。

施設及び設備の老朽化に伴う不具合、故障について、その都度修繕を行った。

新型コロナウイルス感染予防のため、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の発出により、施設の閉鎖や利用制限などを実施してきたが、ウィズコロナ下での施設利用を進めるにあたり、利用者への注意喚起など感染防止対策を講じながら利用促進を進めていく必要がある。

■ 特記事項

令和3年度 事業別行政経営計画書【B】

所属名	生涯教育部 生涯学習課	No.	5
事業名	町民会館管理事業		

■基礎情報

目的	町民が安全で快適に学習できるよう、施設を整備し、町民が学習成果の発表を行う場や講習等の教養を習得すると共に「明るく、楽しく、豊かに」生きることの一助とする。	
事務内容	<ul style="list-style-type: none">・ 施設の利用者対応・ 設備の維持管理 ※外注分は協議・契約・履行確認	<ul style="list-style-type: none">・ 支払処理・ 消耗品等の補充・ 除草等清掃作業
現在における経過又は課題	<p>開館からすでに20年以上経過しており、施設の老朽化や非構造物の耐震診断の結果、屋根の雨漏り箇所や天井材に不具合が確認されていることから、平成30年度に大規模改修工事を行った。令和2年度には2階ホールの舞台吊り物装置の改修工事を行い、経年劣化による危険性に対して万全を期した。</p> <p>町民会館駐車場について、経年劣化により舗装面が傷んでいるため、改修工事の必要がある。</p>	
令和3年度の目標又は改善策	<p>施設の効果的な運用を図るとともに、修理箇所が発生した場合はその都度対応するなどして、適切な維持管理を実施していく。</p> <p>町民会館駐車場において、経年劣化により舗装面が傷んでいるため、改修工事を検討する。</p> <p>施設の利用については、新型コロナウイルス感染拡大予防に努めながら、都度利用の仕方を考えていく必要がある。</p>	

■ 第7次大口町総合計画に定める事項

総合計画の 体系	基本目標	第4章	人の知恵・技・情報が生きる元気コミュニティを創造する				
	基本政策	第1節	生涯学習の推進				
成果指標	/						
H26 実績値	R1 実績値	R2 計画値	R3 目標値	R4 目標値	R5 目標値	R6 目標値	R7 目標値

■ 3年間の目標

目標	施設の突発的な不具合に際し、優先度を考慮しながら迅速に対応する。					
項目（単位）	R1 実績	R2 計画	R3 目標	R4 目標	R5 目標	

■ 2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
R4 年度	光熱水費の節減を図る
R5 年度	施設の効率的な運用の検証を行う

■ 作業工程（当該年度）

月	作業内容
4	<p>年間を通して行う保守点検等の契約締結 随時、履行確認をしていく。</p> <p>* 突発的な施設の不具合等への対応に努めながら、健全な施設運営を図っていく。</p>

■事業コスト

		単位	R1 年度決算額	R2 年度当初予算額	R3 年度計画額
事業費		千円	15,866	24,906	19,048
(内特定財源)		千円		2,613	2,613
人工	職員	人工	0.8	0.8	0.6
	会計年度 任用職員	人工	0	0	0.1
	計	人工	0.8	0.8	0.7

■令和3年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
行政財産目的外使用料	1	10-5-2 4 町民会館管理事業
町民会館使用料	2,000	10-5-2 4 町民会館管理事業
【雑入】施設利用負担金	612	10-5-2 4 町民会館管理事業
合計	2,613	

■令和3年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

項目(科目等)	計画額	増減額	内容
10-5-2 (04) 14-1-2 舞台吊り物装置改修工事	0	△6,006	工事完了に伴う減額
10-5-2 (04) 14-1-4 自動水栓取替等工事費	817	817	水道蛇口を自動水栓へ取り替える

■目標又は改善策に対する取組内容

修繕(主なもの)		
6月	1階書庫壁等修繕	319,000円
9月	1階自動ドア修繕	359,700円
2月	町民ホール北側排煙窓修繕	330,000円
工事		
11月	自動水栓取替等工事費 (1階トイレ及び2階客溜り側トイレの手洗い場の自動水栓化の工事)	808,400円
その他		
町民ホールは、新型コロナウイルス感染予防のため、12月まで施設の一般利用を制限した。		

■評価

新型コロナウイルス感染防止対策として、トイレ手洗い場の自動水栓化工事を実施した。

施設及び設備の老朽化に伴う不具合、故障について、その都度修繕を行った。

修繕について、町民ホールは利用の際、感染防止対策として換気のため排煙窓を利用していたが、このことから排煙窓の不具合が見つかり修繕を実施した。また、1階に2か所ある自動扉について、動力部品の耐用年数の経過に伴う取替修繕を実施した。

その他、施設の運用面について、換気問題のため一般利用を停止していた町民ホールは、換気作業の検証を実施し換気方法を取り決め、7月から一般利用の再開に向け進めていたが、新型コロナウイルスワクチン職域接種会場となったこと、併せて感染拡大の状況を考慮し、12月から一般利用を再開した。再開に際し、中央公民館集会室が接種会場として利用しているため使用できないことを鑑み、その代替え場所として町民ホールを利用できるよう卓球台7台を設置し、卓球ができるようにした。

■特記事項

令和3年度 事業別行政経営計画書【A】

所属名	生涯学習課	No.	6
事業名	社会体育振興事業		

■基礎情報

目的	町民が暮らしの中に「体育」を取り入れ「健康」と「元気」になれるよう、「町民と結びついた社会体育」をスローガンに各種講習会や大会などを開催し、町民にスポーツ参加の機会と普及に努めること。	
事務内容	<ul style="list-style-type: none">・スポーツ教室開催・スポーツ大会開催・体育協会支援	<ul style="list-style-type: none">・スポーツ少年団支援・スポーツ推進委員事務
現在における経過又は課題	<p>若い世代から高齢者まで、生涯にわたって健康・体づくりに取り組めるよう、多様なスポーツに親しむ機会の充実に努めていく。</p> <p>子ども向けの事業については、統合型地域スポーツクラブであるNPO法人ウィル大口スポーツクラブと連携しながら、引き続き事業を継続していく。</p> <p>団体支援については、団体のみが参加する活動だけではなく、地域の人たちも参加できる形での地域貢献の場を設けていく必要がある。</p>	
令和3年度の目標又は改善策	<p>特に普段仕事や子育て等でなかなかスポーツに触れ合う機会の少ない30～40歳の世代に対し、生涯スポーツのきっかけとなるようなアプローチを実施していく。</p> <p>スポーツ教室については、スポーツ推進委員を中心にプロジェクトを組織し、様々な観点から種目を選定して計画していく。</p> <p>子ども向けの事業については、引き続きウィル大口スポーツクラブと連携を密にしながら、事業を進めていく。</p> <p>体育協会、スポーツ少年団については、自立した運営が図れるよう引き続き支援を行っていく。</p> <p>いずれにしても、新型コロナウイルス感染拡大予防に努めながら、事業の可否や内容の変更などについて判断をしていく必要がある。</p>	

■第7次大口町総合計画に定める事項

総合計画の 体系	基本目標	第4章	人の知恵・技・情報が生きる元気コミュニティを創造する				
	基本政策	第1節	生涯学習の推進				
成果指標	スポーツ活動、教室のメニューや数の満足度						
H26実績値	R1実績値	R2計画値	R3目標値	R4目標値	R5目標値	R6目標値	R7目標値
58.6%	54.6%	60.0%	-	-	-	-	70.0%

成果指標	町が主催したスポーツ大会・教室の参加人数						
H26実績値	R1実績値	R2計画値	R3目標値	R4目標値	R5目標値	R6目標値	R7目標値
6,550人	5,500人	6,800人	6,820人	6,850人	6,900人	6,950人	7,000人

成果指標	スポーツ少年団指導者有資格者（指導者に対する割合）						
H26実績値	R1実績値	R2計画値	R3目標値	R4目標値	R5目標値	R6目標値	R7目標値
36.0%	96.0%	40.0%	80.0%	85.0%	90.0%	95.0%	100.0%

成果指標	スポーツ施設利用者数						
H26実績値	R1実績値	R2計画値	R3目標値	R4目標値	R5目標値	R6目標値	R7目標値
500,360人	544,289人	510,000人	550,000人	555,000人	560,000人	565,000人	570,000人

■3年間の目標

目標						
	項目（単位）	R1実績	R2計画	R3目標	R4目標	R5目標

■ 2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
R4 年度	体を動かすきっかけづくりとなる生涯スポーツの啓発をする
R5 年度	スポーツを通じた交流・ネットワークの充実を図る

■ 作業工程（当該年度）

月	作業内容
4	各団体補助金交付決定 事業の展開支援（4月～3月）
5	登山教室
9	地区別ソフトボール大会開催
10	町民体育祭開催
12	愛知駅伝参加
2	スノーシュー教室
3	桜並木健康ジョギング開催
	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ推進委員会議は毎月1回開催 ・スポーツ教室は年度当初に企画し、夏以降に開催

■ 事業コスト

		単位	R1 年度決算額	R2 年度当初予算額	R3 年度計画額
事業費		千円	8,848	10,217	10,102
（内特定財源）		千円		360	360
人工	職員	人工	0.8	0.8	0.6
	会計年度 任用職員	人工	0	0	0.1
	計	人工	0.8	0.8	0.7

■ 令和3年度計画特定財源内訳

（単位：千円）

特定財源名称	金額	備考（充当先等）
学校開放施設使用料	340	10-6-1 3 社会体育振興事業
ふるさとづくり基金繰入金	6	10-6-1 3 社会体育振興事業
【雑入】スポーツ教室受講料	14	10-6-1 3 社会体育振興事業
合計	360	

■令和3年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

項目(科目等)	計画額	増減額	内容

■目標又は改善策に対する取組内容

●講座・教室

タグラグビー教室(10月9日開催予定→3月19日に延期したが中止)

→新型コロナウイルス感染防止のため中止とした。

雪山トレッキング講習会(2月5日開催予定が中止)

→参加申込みがなかったため開催を中止した。

●スポーツ推進委員会活動

→新型コロナウイルス感染防止のため活動が制限されたが、定例会は9回実施した。

●スポーツ大会

地区別対抗グラウンド・ゴルフ大会(7月4日開催予定が中止)

地区別ソフトボール大会(9月5日・12日開催予定が中止)

スポーツチャレンジ2021(10月3日開催予定が中止)

愛知県市町村対抗駅伝競走大会(主催者が中止決定)

桜並木健康ジョギング(令和4年4月2日開催予定が中止)

→新型コロナウイルス感染防止のため中止した。

●体育協会・スポーツ少年団事業

体育協会(10団体)

スポーツ少年団(4団体)

■評価

スポーツ教室について、タグラグビー教室は、緊急事態宣言等の発出による新型コロナウイルス感染防止に伴い中止した。雪山トレッキング講習会は申込者ゼロのため中止したが、開催方法(現地集合・現地解散)や内容の魅力など、今後のスポーツ教室の在り方について今一度熟考していくきっかけとなった。

町民体育祭は、例年の開催方式ではなく、参加者を申込制にし、4競技実施する「スポーツチャレンジ2021」を企画したが、新型コロナウイルス感染防止のため中止した。

スポーツ推進委員会の活動も、委員会の開催ができない時期もあり、事業が制限される中でできることを模索した1年であった。

今後は、新型コロナ感染防止対策を徹底しながら、新たな事業を展開していく必要がある。

■特記事項

--

令和3年度 事業別行政経営計画書【A】

所属名	生涯教育部 生涯学習課	No.	7
事業名	温水プール管理事業		

■基礎情報

目的	町民が安全で快適にスポーツを楽しむことができるような施設の一つとして、一年を通して活用できる温水プールを整備することで町民の体力づくり、健康づくりに努め、スポーツによる明るいまちづくりを推進する。	
事務内容	<ul style="list-style-type: none">・ 指定管理者との協定締結・ 指定管理者と連携を密にとり施設の管理・運営について、確認する。	<ul style="list-style-type: none">・ 指定管理の範囲外の工事等について、検討し実施。
現在における経過又は課題	<p>施設の管理運営は平成22年度から指定管理者に委ねられており、引き続き令和2年度から令和6年度まで5年間の指定管理協定をウィル大口スポーツクラブと締結している。</p> <p>施設自体は、開館からすでに30年以上が経過しており、随時修繕等を実施していく必要がある。</p>	
令和3年度の目標又は改善策	<p>施設の管理運営が指定管理者に委ねられていることから、施設の適正な運営が行われているかの指導・助言を実施していく。また、指定管理者との連携を密にするため、定期的な連絡会議を引き続き実施していく。</p> <p>施設については、指定管理者と協議のうえ、施設な改修が必要な個所について把握し、今後の改修に向けて準備を進めていく。</p> <p>施設の利用については、新型コロナ感染拡大予防に努めながら、都度利用の仕方を指定管理者と協議しながら考えていく必要がある。</p>	

■第7次大口町総合計画に定める事項

総合計画の 体系	基本目標	第4章	人の知恵・技・情報が生きる元気コミュニティを創造する				
	基本政策	第1節	生涯学習の推進				
成果 指標	スポーツ活動、教室のメニューや数の満足度						
H26 実績値	R1 実績値	R2 計画値	R3 目標値	R4 目標値	R5 目標値	R6 目標値	R7 目標値
58.6%	54.6%	60.0%	-	-	-	-	70.0%

■3年間の目標

目標	(この表は斜線で消されています)					
	項目(単位)	R1 実績	R2 計画	R3 目標	R4 目標	R5 目標

■2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
R4 年度	温水プール及びスポーツ施設の指定管理に関する検証を行う
R5 年度	温水プール施設の長寿命化に対する検証を行う

■作業工程 (当該年度)

月	作業内容
4	<p>指定管理年度協定締結</p> <p>年間を通して施設の管理運営が適切に行われているか、指定管理者の動向を慎重に見守っていく。大規模な修繕が発生した場合は、指定管理者と協議しながら対応していく。</p>

■事業コスト

		単位	R1 年度決算額	R2 年度当初予算額	R3 年度計画額
事業費		千円	50,585	50,296	51,917
(内特定財源)		千円		122	392
人工	職員	人工	0.5	0.5	0.4
	会計年度 任用職員	人工	0	0	0.1
	計	人工	0.5	0.5	0.5

■令和3年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
行政財産目的外使用料	122	10-6-2 3 温水プール管理事業
ネーミングライツ料	270	10-6-2 3 温水プール管理事業
合計	392	

■令和3年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

項目(科目等)	計画額	増減額	内容
10-6-2 (03) 14-1-2 自動水栓取替等工事費	543	543	水道蛇口を自動水栓へ取り替える

■目標又は改善策に対する取組内容

工事

11月 自動水栓取替等工事 537,300円

(トイレ手洗い場の自動水栓化)

指定管理者休業補償 3,650,492円

(8月27日から9月30日まで、新型コロナウイルス感染拡大対策による施設利用停止及び事業自粛による自主事業収益の減少のため)

温水プールのネーミングライツ契約 275,000円(令和3年10月~令和4年3月分)

(契約期間 令和3年10月1日~令和8年9月30日 契約金額 2,750,000円)

愛称：オークマ温水プール 愛称の表示場所：プール施設(正面、東側)、案内板

指定管理者であるウィル大口スポーツクラブと定期的に情報共有会議を実施

(指定管理施設の修繕計画や利用人数などの状況報告など)

■ 評価

新型コロナウイルス感染防止対策として、トイレ手洗い場の自動水栓化工事を実施した。

今年度は、8月下旬から9月末まで、緊急事態宣言による新型コロナ感染防止対策のため施設を利用停止した。これにより、スポーツ施設の指定管理者であるウィル大口スポーツクラブの収入が途絶えてしまうことから、この期間について休業補償を実施した。

オークマ株式会社と令和3年8月4日にネーミングライツ契約を締結した。温水プールは「オークマ温水プール」と愛称を命名され、10月1日から使用している。

ウィル大口スポーツクラブの自主事業は、新型コロナウイルス感染防止のため自粛したが、屋外施設で実施している子供対象の教室は、子供達の学びを止めない、学びの場の提供として実施した。

指定管理者とは連携を密にし、新型コロナ対策を徹底しながら運用を図った。

3階機械室の空調循環ダクトが老朽化による支障が生じ応急処置を施し、来年度修繕を実施する必要がある。

今後も突発的な事項においては、指定管理者であるウィル大口スポーツクラブと連携を密にとり、施設保有者として対応していく必要がある。

■ 特記事項

令和3年度 事業別行政経営計画書【A】

所属名	生涯教育部 生涯学習課	No.	8
事業名	グラウンド等管理事業		

■基礎情報

目的	町民が安全で快適にスポーツを楽しむことができるよう、また、多種多様なスポーツ種目の要望に応えられるように施設を整備し、町民の体力づくり、健康づくりに努め、スポーツによる明るいまちづくりを推進する。		
事務内容	・指定管理委託した施設の町負担分支払	・工事施工	
現在における経過又は課題	<p>平成27年度からすべてのスポーツ施設を指定管理者制度に移行したため、指定管理者と調整しながら施設の維持にあたっている。(平成27年度追加施設:野球グラウンド、町テニスコート、屋内運動場)</p> <p>令和2年度には、夜間のスポーツ施設の利用を可能にするため、わかしゃち国体記念運動公園に照明設備を設置した。(令和3年度から利用開始予定)また、総合グラウンドのゲートボール場1面を駐車場に改修し、周辺施設利用の際の駐車台数確保に努めた。</p> <p>引き続き、全ての施設がより適正に管理・運営されるような施設管理の方法を検討していく。</p>		
令和3年度の目標又は改善策	<p>管理運営が指定管理者に委ねられている施設について、指定管理者が適切な管理に努めるよう指導・助言をしていく。また、経費抑制や適正な管理ができるよう協議を続ける。</p> <p>わかしゃち国体記念運動公園に新設した照明設備について、効率的な運用・利用方法を考えていく。</p> <p>施設の利用については、新型コロナウイルス感染拡大予防に努めながら、利用の仕方を指定管理者と協議しながら考えていく必要がある。</p>		

■第7次大口町総合計画に定める事項

総合計画の 体系	基本目標	第4章	人の知恵・技・情報が生きる元気コミュニティを創造する				
	基本政策	第1節	生涯学習の推進				
成果 指標	スポーツ活動、教室のメニューや数の満足度						
H26 実績値	R1 実績値	R2 計画値	R3 目標値	R4 目標値	R5 目標値	R6 目標値	R7 目標値
58.6%	54.6%	60.0%	-	-	-	-	70.0%

■3年間の目標

目標						
	項目(単位)	R1 実績	R2 計画	R3 目標	R4 目標	R5 目標

■2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
R4 年度	わかしゃち国体記念運動公園照明設備新設の検証を行う
R5 年度	スポーツ施設全般の機能充実を図る

■作業工程 (当該年度)

月	作業内容
4	指定管理者制度導入施設の年度協定締結
随	改修工事
	年間を通して施設の管理運営が適切に行われているか、指定管理者の運営を見守っていく。大規模な修繕が発生した場合は、指定管理者と協議しながら対応していく。

■事業コスト

		単位	R1 年度決算額	R2 年度当初予算額	R3 年度計画額
事業費		千円	53,865	95,685	47,006
(内特定財源)		千円		21,256	1,956
人工	職員	人工	0.8	0.8	0.5
	会計年度 任用職員	人工	0	0	0.1
	計	人工	0.8	0.8	0.6

■令和3年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
行政財産目的外使用料	743	10-6-2 4 グラウンド等管理事業
【雑入】特別養護老人ホーム負担金	600	10-6-2 4 グラウンド等管理事業
ネーミングライツ料(スポーツ施設)	613	10-6-2 4 グラウンド等管理事業
合計	1,956	

■令和3年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

項目(科目等)	計画額	増減額	内容
10-6-2(04)12-5-4 わかしゃち国体記念運動公園 照明設備新設工事設計	0	△701	工事完了に伴う減額
10-6-2(04)14-1-7 総合運動場駐車場拡幅工事費	0	△15,992	工事完了に伴う減額
10-6-2(04)14-1-8 わかしゃち国体記念運動公園 照明設備新設工事費	0	△36,409	工事完了に伴う減額
10-6-2(04)14-1-9 総合運動場高圧機器取替工事 費	3,432	3,432	総合運動場高圧機器の老朽化に伴う取替え
10-6-2(04)14-1-10 自動水栓取替等工事費	887	887	水道蛇口の自動水栓化

■目標又は改善策に対する取組内容

工事

7月～1月 総合運動場高圧機器取替工事費 3,278,000円

(総合運動場キュービクルの変圧器及びコンデンサーの経年劣化による取替え。併せて既設変圧器及びコンデンサーのPCB混入検査を実施し、PCB含有無しを確認した)

11月 自動水栓取替等工事費 877,700円

(総合運動場の管理棟、メインスタンド北側及びA面スタンド北側のトイレ手洗い場を自動水栓化)

総合運動場のネーミングライツ契約 300,000円(令和3年10月～令和4年3月分)

(契約期間 令和3年10月1日～令和8年9月30日 契約金額 3,000,000円)

愛称: オークマグラウンド 愛称の表示場所: 正門、管理棟、A面スタンド、案内板

■評価

新型コロナウイルス感染防止対策として、トイレ手洗い場の自動水栓化工事を実施した。

令和2年度に整備したわかしゃち国体記念運動公園のナイター設備の令和3年度の使用状況は、一般利用として152件2,690人、ウィル大口スポーツクラブ自主事業として279件13,800人の利用があった。

オークマ株式会社と令和3年8月4日にネーミングライツ契約を締結した。総合運動場は「オークマグラウンド」と愛称を命名され、10月1日から使用している。

施設の利用については、緊急事態宣言等の発出に伴い施設閉鎖あるいは一般利用の制限を実施した。

施設の一般利用再開以降もウィル大口とは連携を密にし、それぞれの施設で密にならないよう新型コロナ対策を徹底しながら運用を図った。

■特記事項

--

令和3年度 事業別行政経営計画書【A】

所属名	生涯学習課	No.	9
事業名	野外活動施設管理事業		

■基礎情報

目的	町民が自然にふれあいながら規律、協調、友愛の精神を養い、心身ともに健全に、また、より豊かな心を養うことを目的とし、安心して利用できる施設管理を目的とする。	
事務内容	・設備の維持管理 ※外注分は協議・契約・履行確認	・支払処理 ・消耗品等の補充
現在における経過又は課題	地元住民の有志グループに日常管理を委託してきたが、大きなトラブル等もなく現在も同じグループに日常管理を委託している。 開場からすでに30年以上経過しており、施設全体の老朽化は否めない。アスレチック施設については経年劣化が目立ってきており、毎年の遊具点検により使用の可否を見極めながら、運用を図っていく必要がある。	
令和3年度の目標又は改善策	施設の老朽化に対応するため、可能な限り早期の修繕を実施している。修繕不可能な遊具については使用禁止または撤去などの措置を行っていく。また、地元地域からの要望等については、早期に現状を確認し、対応を図っていく。 今後の施設のあり方については、引き続き方向性を検討していく。 施設の利用については、新型コロナウイルス感染拡大予防に努めながら、利用の仕方を考えていく必要がある。	

■第7次大口町総合計画に定める事項

総合計画の 体系	基本目標	第4章	人の知恵・技・情報が生きる元気コミュニティを創造する				
	基本政策	第1節	生涯学習の推進				
成果 指標	スポーツ活動、教室のメニューや数の満足度						
H26 実績値	R1 実績値	R2 計画値	R3 目標値	R4 目標値	R5 目標値	R6 目標値	R7 目標値
58.6%	54.6%	60.0%	-	-	-	-	70.0%

■3年間の目標

目標	(この表は斜線が入っています)					
	項目(単位)	R1 実績	R2 計画	R3 目標	R4 目標	R5 目標

■2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
R4 年度	施設の遊具の適切な管理・運用を図る
R5 年度	施設の将来的な在り方を検討する

■作業工程 (当該年度)

月	作業内容
4	年間を通して行う保守点検等の契約締結 随時、履行確認をしていく。 * 突発的な施設の不具合等への対応に努めながら、健全な施設運営を図っていく。

■事業コスト

		単位	R1 年度決算額	R2 年度当初予算額	R3 年度計画額
事業費		千円	3,780	4,770	4,817
(内特定財源)		千円		15	15
人工	職員	人工	0.3	0.3	0.2
	会計年度 任用職員	人工	0	0	0
	計	人工	0.3	0.3	0.3

■令和3年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
野外活動施設使用料	15	10-6-2 5 野外活動施設管理事業
合計	15	

■令和3年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

項目(科目等)	計画額	増減額	内容

■目標又は改善策に対する取組内容

アスレチック遊具の安全点検を年1回実施した。

修繕(主なもの)

5月 遊具等修繕 451,000円

(遊具「ターザンロープ」のロープウェイ部の支柱、梁等を撤去し、デッキ部を修繕し見晴らし台とした。)

11月 旗ポール撤去修繕 93,500円

(旗ポール3本のうち道路側に傾いた1本を土台部から撤去)

3月 遊具等撤去修繕 165,000円

(点検により使用不可と判定された遊具「裁断橋渡り」を撤去)

工事

11月 自動水栓取替等工事費 293,900円

(管理棟1階の手洗い場を自動水栓化)

その他

11月 樹木剪定業務 245,410円(アスレチック場内のケヤキ伐採など)

キャンプ場トイレをキャンプ場の利用に関係なく、白山ふれあいの森の開場時間に合わせて開放することとし利便性を図った。

■評価

新型コロナウイルス感染防止対策として、トイレ手洗い場の自動水栓化工事を実施した。

アスレチック遊具の定期点検において、撤去推奨の判定を受けたアスレチック遊具は撤去修繕により施設の安全性を確保した。今後も点検結果から適宜修繕及び撤去を実施し、安全に利用できる環境整備に努めるが、アスレチック遊具新設、施設の維持管理方法や利用形態を勘案しながら、施設そのものの在り方を検討していく必要がある。

日常管理を委託している地元の有志団体「白山ふれあいの森クラブ」は、適切に清掃や施設の開閉錠を実施しているが、クラブ員の高齢化が進んでいる。

野外活動施設は老朽化が進んでおり、今後の施設の在り方や管理について検討する必要がある。

■特記事項

令和3年度 事業別行政経営計画書【A】

所属名	生涯学習課（歴史民俗資料館）	No.	10
事業名	文化財保護事業		

■基礎情報

目的	郷土に遺る貴重な文化遺産の保存に努め、積極的に活用することにより次世代へ継承する。	
事務内容	<ul style="list-style-type: none">・ 指定文化財の保存と活用・ 新規に指定可能な文化財の調査・ 町の歴史に係る調査及び研究	<ul style="list-style-type: none">・ 埋蔵文化財の保護と開発に係る調査・ 伝統芸能の継承と普及
現在における経過又は課題	<p>町内に遺る指定文化財及び未指定でも近年急速に失われつつある、郷土の歴史を把握する上で貴重な文化遺産について日々調査を行い、それらを保存及び活用することにより、町民の保護意識の醸成を図る。</p> <p>各地区に伝わる伝統芸能について、近年継続が困難になってきているため、伝統芸能を発表する場及び次世代へ継承する事業を推進する。</p>	
令和3年度の目標又は改善策	<p>指定、未指定に関わらず、町内に遺る文化遺産等について、専門家や地域住民の協力を得ながら調査を進め、その成果を町民に還元する。</p> <p>毎年4月及び10月に開催している伝統芸能発表会及び大口北小学校で実施している各地区の保存会と児童の交流事業を開催し、発表及び次世代へ継承する場を設ける。特に秋の伝統芸能発表会は、地域と連携し、多世代が集う憩い広場での新しいイベントを開催する。また、各地区の活動状況を把握しながら、保存会の継続に寄与する。</p>	

■第7次大口町総合計画に定める事項

総合計画の 体系	基本目標	第4章	人の知恵・技・情報が生きる元気コミュニティを創造する				
	基本政策	第1節	生涯学習の推進				
成果 指標	所蔵資料点数						
H26 実績値	R1 実績値	R2 計画値	R3 目標値	R4 目標値	R5 目標値	R6 目標値	R7 目標値
10,387 点	12,898 点	11,300 点	13,000 点	13,200 点	13,400 点	13,600 点	15,000 点

■3年間の目標

目標	・多世代が集う憩い広場での新しいイベントの創出					
	項 目（単位）	R1 実績	R2 計画	R3 目標	R4 目標	R5 目標

■2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
R4 年度	・R3年度開催した伝統芸能発表会及びそれに付随したイベントの反省点を改善し、参加団体を増やす。
R5 年度	・伝統芸能発表会とともに、地域のイベントとして規模を拡大させる。

■作業工程（当該年度）

月	作 業 内 容
	文化遺産の調査及び普及啓発活動 調査は専門家や地域住民の協力を得ながら通年で実施。さらに、地元の文化遺産に関する認知度を高めるため、普及啓発活動を随時開催。
4	伝統芸能保存及び継承 金助桜まつりでの伝統芸能披露
6	伝統芸能保存会会議において、各地区の現状等を把握し、今後の継続的な活動について検討。
10	多世代が集う憩い広場での伝統芸能発表会の開催 大口北小学校との交流会

■事業コスト

		単位	R1 年度決算額	R2 年度当初予算額	R3 年度計画額
事業費		千円	2,565	3,284	3,308
(内特定財源)		千円	30	30	30
人工	職員	人工	0.5	0.5	0.5
	会計年度 任用職員	人工	0.5	0.5	0.5
	計	人工	1	1	1

■令和3年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
【雑入】遺跡報告書売払収入 等	30	
合計	30	

■令和3年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

項目(科目等)	計画額	増減額	内容
伝統芸能発表会運営委託料	1,100	383	金助桜まつりにおいて獅子屋形の通るルートが、道路工事により変更となったため、堀尾跡公園へ入るスロープ等を新たに設置する。

■目標又は改善策に対する取組内容

町内に遺る多様な文化遺産について、各種団体より情報提供を受け、連携しながら調査を推進した。令和2年度に引き続き、町内の文化遺産に関する講演会及び現地解説は中止となったが、各団体が文化遺産に関する印刷物を作成する際に情報提供及び助言をする等、感染状況に左右されない範囲で実施できることを進めた。

伝統芸能発表会も春及び秋ともに中止となったが、北小学校連携事業「ふるさと大口・お祭りたいけんひろば」は、感染症予防対策を講じた上で、各保存会それぞれ別の日に実施した。

■ 評価

文化遺産に係る講演会及び現地見学について、令和2年度に引き続き中止が相次ぎ、実施することができなかった。しかし、感染状況に左右されない範囲で各団体とともに文化遺産の調査を行い、地域の文化遺産に関する印刷物の作成等、形を変えながらも文化遺産に対する普及啓発を継続できた。

伝統芸能発表会も春及び秋ともに令和2年度と同様に中止となった。各保存会の活動自体が制限される中、大口北小学校の「ふるさと大口・お祭りたいけんひろば」は、感染症予防対策を講じた上で実施でき、出演した各保存会は久々の児童との交流に大変盛り上がった。次年度以降も制限が続く可能性もあるが、活動の自粛から保存会の休止もしくは解散に至らないよう配慮していかなければならない。

■ 特記事項

令和3年度 事業別行政経営計画書【A】

所属名	生涯学習課（歴史民俗資料館）	No.	1 1
事業名	歴史民俗資料館運営事業		

■基礎情報

目的	先人の培ってきた過去の営みを現在に伝えるため、郷土「おおぐち」に関する事柄や美術分野等の展示を実施することにより、町民の知的欲求に応える。また、小中学校の見学受け入れや資料貸出等により、学校教育に寄与する。	
事務内容	<ul style="list-style-type: none">・年4回の企画展開催・常設展示室の管理・展示解説及びそれに係る調査研究・文化財収蔵庫の管理	<ul style="list-style-type: none">・収蔵品管理及び活用・学校授業による見学受け入れ・博物館実習生の受け入れ・年報、展示図録等の発行
現在における経過又は課題	<p>年4回開催している企画展のうち、春の企画展「端午の節句」及び冬の企画展「ひなまつり」は毎年恒例の企画展である。上記2本の企画展を、新しい生活様式に対応しつつ開催し、町民が安心・安全に資料館を利用する機会を創出する。</p> <p>文化財収蔵庫内の資料及び施設自体の活用を推進する。収蔵品については、小中学校及び高齢者施設等に対し積極的に利用してもらえるように推進する。</p>	
令和3年度の目標又は改善策	<p>定例化した春及び冬の企画展は、新しい生活様式に対応した方法を検討し、来館者の安全を確保した上で実施する。夏及び秋の企画展は、郷土の歴史をはじめとしたテーマを中心に、町民の知的好奇心を刺激する内容とする。</p> <p>文化財収蔵庫及び収蔵品の活用は、年1回の施設開放及び月1回の「オレンジカフェ・大口」への資料貸与を引き続き実施し、教育及び福祉関係機関と連携を深める。</p>	

■ 第7次大口町総合計画に定める事項

総合計画の 体系	基本目標	第4章	人の知恵・技・情報が生きる元気コミュニティを創造する				
	基本政策	第1節	生涯学習の推進				
成果 指標	所蔵資料点数						
H26実績値	R1実績値	R2計画値	R3目標値	R4目標値	R5目標値	R6目標値	R7目標値
10,387点	12,898点	11,300点	13,000点	13,200点	13,400点	13,600点	13,800点

成果 指標	入館者数						
H26実績値	R1実績値	R2計画値	R3目標値	R4目標値	R5目標値	R6目標値	R7目標値
15,167人	9,528人	15,500人	16,000人	17,000人	18,000人	19,000人	20,000人

■ 3年間の目標

目標	・来館者の安心・安全を確保した展示方法の実施					
項目(単位)		R1実績	R2計画	R3目標	R4目標	R5目標

■ 2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
R4年度	・新しい生活様式を踏まえた効果的な展示方法の検討
R5年度	・新しい展示方法の試行

■作業工程（当該年度）

月	作業内容
4	春の企画展開催（5月下旬まで）
6	中学生職場体験受入
7	夏の企画展開催（9月上旬まで）
8	博物館実習受入
10	秋の企画展開催（12月中旬まで）
11	ふれいあまつりで文化財収蔵庫一日開放
1	冬の企画展開催（3月中旬まで）

毎月、大口町社会福祉協議会が開催する「オレンジカフェ・大口」に収蔵品貸出
小中学校、高齢者施設及び町内各種団体に対し文化財収蔵庫の団体見学受入及び収蔵品貸出

■事業コスト

		単位	R1 年度決算額	R2 年度当初予算額	R3 年度計画額
事業費		千円	12,752	13,746	11,823
（内特定財源）		千円	40	40	40
人工	職員	人工	0.5	0.5	0.5
	会計年度 任用職員	人工	1	1	1
	計	人工	1.5	1.5	1.5

■令和3年度計画特定財源内訳

（単位：千円）

特定財源名称	金額	備考（充当先等）
【雑入】資料館企画展図録売払収入 等	40	
合計	40	

■令和3年度計画額の主な増減

（新たな取組、臨時経費、廃止項目等）

（単位：千円）

項目（科目等）	計画額	増減額	内容
常設展示室改修	0	△1,870	令和2年度で事業が完了したため。

■目標又は改善策に対する取組内容

今年度は感染症対策を講じた上で企画展を実施した。春及び冬の企画展は毎年恒例だった「端午の節句」、「ひなまつり」を開催。ただし、好評だった甲冑、陣羽織、お内裏様及びお雛様の衣装を着て写真撮影ができるコーナーは中止とした。夏の企画展は大口町内で過去に起こった災害をテーマに実施し、秋の企画展は収蔵品の民具を中心に、昭和中期までの暮らしの様子を紹介した。

大口町社会福祉協議会との連携事業「オレンジカフェ・大口」は今年度も中止となり、従来まで小学校3年生が「むかしのどうぐ」の授業で実施していた資料館及び収蔵庫の見学は、学校へ館蔵品を持ち込む出張授業に変更して対応した。

■評価

今年度も8月27日～9月30日まで臨時休館があり、思うような資料館活動が実施できなかったが、今年度は2年ぶりに企画展を年4回実施した。ただし、写真撮影コーナーや会期中の展示関連イベントは実施せず、あくまで展示のみとした。次年度以降は感染状況を窺いつつ、平成30年度以前の状態へと徐々に近づけていきたい。

文化財収蔵庫の収蔵品は、様々な制限がある中で活用できる方法を模索し、主に学校へのお出張授業として実施することができた。今後も感染状況に左右されない方法を検討しながら、活用への道を探っていきたい。

■特記事項

令和3年度 事業別行政経営計画書【A】

所属名	生涯学習課（歴史民俗資料館）	No.	12
事業名	歴史文化教育事業		

■基礎情報

目的	町内の歴史及び文化を、様々な団体と連携しながら次世代へ継承することにより、町民が郷土を愛し、町の魅力として誇りを持てるまちづくりを推進する。		
事務内容	<ul style="list-style-type: none">・ 保育園との連携事業・ 小中学校における郷土学習		<ul style="list-style-type: none">・ 地域自治組織との連携事業・ 町内各種団体との連携事業
現在における経過又は課題	各種団体から依頼を受け、講演及び現地解説を実施する中で、地域（家庭）において郷土の歴史及び文化を次世代へ語り継ぐことが断絶している状況が窺える。 このため、様々な団体と連携し、老若男女問わず郷土の歴史、文化及び現在も残る多様な文化遺産を次世代へ継承することにより、町民の郷土愛を育み、町の魅力として誇りを持つことができるようなまちづくりを推進していかなければならない。		
令和3年度の目標又は改善策	各保育園及び各地域自治組織との連携事業、町内の小学校6年生及び中学校2年生を対象とした「松江開府の祖 堀尾吉晴公」をはじめ、他学年の「ふるさと大口」に関する授業を継続して実施。機会があれば様々な団体と積極的に連携し、本事業を幅広く展開する。 また、小中学校の郷土学習での講話や資料提供等、可能な支援を提案し、重点的に連携を推進する。		

■第7次大口町総合計画に定める事項

総合計画の 体系	基本目標	第4章	人の知恵・技・情報が生きる元気コミュニティを創造する				
	基本政策	第1節	生涯学習の推進				
成果 指標	出前講座・授業開催数						
H26実績値	R1実績値	R2計画値	R3目標値	R4目標値	R5目標値	R6目標値	R7目標値
20件	44件	25件	45件	50件	55件	60件	65件

■3年間の目標

目標	・子どもの発達段階に応じた郷土学習の推進					
項目(単位)	R1実績	R2計画	R3目標	R4目標	R5目標	

■2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
R4年度	・前年度までの実績を振り返り、郷土の歴史を発達段階に応じた学習プログラムの検討
R5年度	・前年度検討した学習プログラムの実施

■作業工程(当該年度)

月	作業内容
	<ul style="list-style-type: none"> ・北、西、南保育園連携事業「郷土を愛する心を育む活動」(年間3園合計で12回程度) ・小学生対象に児童の発達段階に合わせた郷土学習(各学年で実施) ・小学校6年生郷土学習「郷土の偉人 堀尾吉晴公」(9月以降実施) ・中学校2年生郷土学習「郷土の偉人 堀尾吉晴公」(6月) ・中地域自治組織文化部会「歴史と民俗研究会」 ・南地域自治組織「南地域の歴史や文化遺産を次世代につなぐ事業」 ・「おおぐち歴史ガイド」による生涯学習講座 <p>その他、まちづくり団体等、町内の様々な団体とともに連携し事業を展開。</p>

■事業コスト

		単位	R1 年度決算額	R2 年度当初予算額	R3 年度計画額
事業費		千円	0	0	0
(内特定財源)		千円	0	0	0
人工	職員	人工	1	1	1
	会計年度 任用職員	人工	0.5	0.5	0.5
	計	人工	1.5	1.5	1.5

■令和3年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
合計		

■令和3年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

項目(科目等)	計画額	増減額	内容

■目標又は改善策に対する取組内容

各種団体との連携事業のうち、特に講演会及び現地見学等イベント関係は、令和2年度に引き続き実施することができなかった。保育園及び小中学校については、感染症予防対策を講じた上で実施することができた。保育園は南保計5回、西保計4回、北保計4回にわたり「郷土を愛する心を育む活動」を実施し、小中学校は「郷土の偉人 堀尾吉晴公」をはじめ各種授業の連携を進めることができた。各地域自治組織においては、中地域自治組織のアドバイザーの依頼を受け、冊子「空から見る地域の移り変わり」を作成し、南地域自治組織の「南地域まちづくりかわら版」への寄稿及びパンフレット「南地域のたからもの散策ガイド」の作成に寄与した。

■ 評価

保育園及び小中学校は、感染症予防対策を講じつつ、ほぼ予定通りの連携を進めることができた。しかし町内の各種団体との連携については、講演会及び現地見学等のイベントが実施できず、代わりに感染状況に左右されない範囲でできる活動を継続し、冊子・パンフレット類の作成に寄与することができた。今後も連携が途切れることが無いよう、形を変えつつ継続して事業を展開していきたい。

■ 特記事項